

百人一首 (うたばんごう 歌番号 : 46 ~ 50)

君がため
惜しからざりし
命さへ
ながくもがな
おもひけるかな
藤原義孝



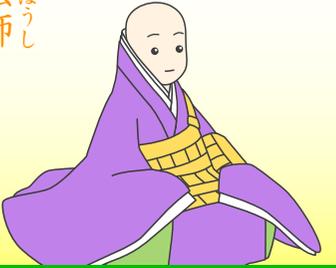
御垣守
衛士の焚く火の
夜は燃え
昼は消えつつ
物をこそ思へ
大中臣能宣朝臣



風をいたみ
岩うつ波の
おのれのみ
砕けて物を
思ふころかな
源重之



八重葎
しげれる宿の
さびしきに
人こそ見えね
秋は来にけり
恵慶法師



由良の門を
渡る舟人
かちを絶え
ゆくへも知らぬ
恋の道かな
曾禰好忠



ながくもが
なとおもい
けるかな

ひるはきえ
つつものを
こそおもえ

くだけても
のをもう
ころかな

ひとこそみ
えねあきは
きにけり

ゆくえもし
らぬこいの
みちかな